



KOMAKYO だより

小松教育事務所

NO.2
H.24.10.1

「学習タイムの工夫」編

各学校で熱心に取り組まれている「チャレンジタイム」や「いきいきタイム」などの学習タイム（帯タイム）。貴重なその時間を有効活用できているか見直してみませんか。

『現状と課題』

- ◆計画したことを全学級で実施できていますか。
- ◆力がついたかの見取りや検証がしっかりされていますか。
- ◆基礎・基本だけでなく、活用力をつける内容になっていますか。
- ◆子どもは、必要感をもち、意欲的に取り組んでいますか。
- ◆学習タイム中、個に力をつける指導がなされていますか。

改善のための「5つのポイント」

ポイント1▶目標を明確にし、一致団結して共通実践できる体制づくりを！

- * 時間的に無理がある場合、日課の工夫をする。
たとえば、掃除を隔日にし、時間を確保する。10分の学習タイムに掃除の時間15分を合わせると25分確保できる。
- * 短時間（たとえば10分）で実施する場合は、スタートと終了の時間を徹底して守る。
子どもが自ら動けるよう育てたり、実施時間に音楽を流したりする。
- * 学習タイムで成果を出すには、先生方が目標を共有し、その成果を出すために徹底した共通実践が必要。そのために、学習タイム担当の先生だけでなく、管理職の先生方のご支援・ご助言をぜひお願いします。

ポイント2▶PDCAサイクルを短期間に実施、数値化し、学力の定着の検証を！

- * 目標の評価を短期間（たとえば、学期に1回）で行い、数値化し、検証する。
（検証方法例）観察、評価テスト、アンケート等
 - ・観察だけでは、主観的になるので、定期的に評価テストで確認する。
 - ・評価テストは、たとえば国や県の学力調査の過去問題等を活用する。
 - ・アンケートは、子どもの意欲面を見取ることができる。

ポイント3▶今、子どもたちにつけたい力をつける内容にする！活用力の育成を！！

- * 問題の内容を確認し、学力調査の分析・考察に合致したものにする。基礎的基本的な力をつける問題（A問題）ばかりでなく、思考力・判断力・表現力（活用力）をつける問題（B問題）も実施する。

ポイント4▶子どもたちに必要感をもち、自分の伸びに喜びを感じさせる時間に！

- * 子どもたちとこの時間の意義を教師と共有する。自分の学力の伸びが実感できるように定期的な評価テスト結果を記録させる。教師は個人の記録から学級の記録を出し、その変容を褒めたり、励ましたりする。

ポイント5▶学習タイム中、個の指導ができるシステムに！

- * 子どもが自ら取り組めるシステムにする。たとえば、取り組む問題を冊子にし、配付。答えの冊子も作り自分で丸つけをする。その間、教師は個の指導ができる。

キーワードは、「できるところから」。そして、決めたことは、全員で「徹底」して「本気で実践！ですね。





加賀市立分校小学校の取組

■日課表を見直し、日々の教育活動の中で自分に挑戦できる場の設定を

★ショートチャレンジタイム

(月・金：13：40～13：50)

★ロングチャレンジタイム

(火・木：13：25～13：50)

- ・ショートチャレンジ：計算・漢字の全学年までの基礎の習熟を行う。
- ・ロングチャレンジ：授業とつなげながら、国語と算数の応用と活用の力を伸ばす。

■**確かな学力をつけるため、定期的に全校一斉のテストを実施 評価し励ましを**

- ・基礎チャレンジテスト（前学年の計算・漢字）年間3回の確かめテストを実施。パーフェクト賞等をわたし、評価及び励みとする。
- ・活用チャレンジテスト（現学年応用問題）年間2回のテストを実施。

小松市立犬丸小学校の取組

■**チャレンジタイム（学習タイム）**で学力調査の分析を生かした実践を行い、PDCAサイクルで確実な実施の検証を

- ・学力調査の分析からみえた課題の改善を年間通じて行われる学習タイムや授業で位置づけ、過去問題等を計画的に活用する。
- ・チャレンジタイム実施後、各学年で実施状況をチェックし、検証、改善することで、より効果的な方法で定着を図る。※参考資料は、事務所ホームページに掲載。

■**目標を高く設定し、児童の意識向上を**

- ・漢字や計算については、設定目標をあえて高く設定する。達成できなかった子の指導を課外で行う。

小松市立波佐谷小学校の取組

■**基礎基本の定着をはかるステップ学習**

- ・児童の実態に応じて弱点を補っている。プリントは個人ファイルに綴っておき、児童個人の学びを「見える化」する。
- ・火、木（算数）→できないところを中心にミニ計算プリントに取り組む。
- ・水、金（国語）→本校の弱点や学年に応じた年間計画にそって、視写・漢字、音読、短作文、長文読みとり等を行う。（確認テストや検定でチェック）

■**集中して取り組める日課表**

- ・朝読書（10分間）→朝の会（10分間）→ステップ学習（15分間）の時間設定で、児童一人ひとりが集中してステップ学習に臨むことができる。

※参考資料は、事務所ホームページに掲載。

能美市立福岡小学校の取組

■**プリントを綴じて冊子にし、「能美チャレタイム」（学習タイム）として実施**

- ・短い学習タイムの時間を能率に活用するには、子どもが主体的にすぐ取り組めることが大切。能美っ子チャレンジプリント（各学年ごとの単元に位置づけた過去問題）を冊子にし、「能美チャレタイム」開始とともに活用できるようにする。

川北町立川北小学校・橘小学校・中島小学校の取組

■**短作文を取り入れた学習タイムの実施**

- ・字数や段落、テーマ等を決め、条件つき作文を書くことで思考力、判断力、表現力を育成する。